

# 青谷申新聞

**学校概要**




【学校名】鳥取市立青谷中学校  
 【所在地】鳥取市青谷町青谷4190番地1  
 【校長名】田中浩史  
 【生徒数】92人  
 【校訓】志学 博愛 自律 剛健  
 【学校教育目標】少数精鋭・スケールメリツトを生かした青谷町教育の推進

**沿革**

1947(昭和22)年4月 勝部村他3カ村組合立山西中学校及び青谷町立青谷中学校の2校設立開校  
 48(昭和23)年4月 勝部・中郷村組合立山西第一中学校及び日置・日置谷村組合立山西第二中学校、青谷町立青谷中学校の3校で再出発  
 58(昭和33)年10月 学校統合により3校を青谷中学校と名義のみの統合をなし、開校  
 2004(平成16)年11月 鳥取市立青谷中学校となる  
 17(平成29)年7月 新校舎竣工(しゅんこう)式  
 10月 統合60周年記念式典挙行



## 子ども映画教室



赤いボールを主人公に撮影を行う生徒たち

後半からは、グループごとに実際に映画を作る体験。赤いボールを主人公とした1分ほどの映画を作ることに。各グループがどんな映画を作るか、撮影場所などについて話し合いながら創意工夫を凝らし、タブレット端末を使いながら作品を制作した。

2日目は、初日に制作した映画を全員で鑑賞。生徒たちは苦勞したところや工夫したところ、感想などを語り合った。「あまり学ぶ機会がないので、僕たちにとって良い経験になった」「同じテーマでも違うストーリーが出来上がったので面白かった」「グループで協力しながら活動できてよかった」という声が聞かれた。

今年度の「芸術の秋」の締めくくりとなる2日間であった。

(土橋直翔、北原鴻志、森田正姫、中西世里香)

## 1年生テーマ「大地」



発掘現場で話を聞く生徒

**弥生にタイムリープ!? 青谷上寺地遺跡で見学や発掘体験も**

青谷町には青谷上寺地遺跡があり、弥生人の暮らしがさまざまな形で出土している。1年生の「探究あおや」の学習テーマは、青谷の大地の魅力や青谷上寺地遺跡の大地についてである。「青谷上

らった。話を踏まえて、アドバイスをいただいたながら探究テーマを決定。テーマの中には、「海との関わり」や「出土品」などがある。次に、各自がタブレットや図書館の資料を用いて、それぞれが設定したテーマについて探究していった。来年度以降、地域の方や専門家の方と対話したり、実際に青谷上寺地遺跡に発掘を見学・体験したりする中で、学びをより深めていこうと考えている。

(平田翔、松原有次、蔵光芽依)

## 2年生テーマ「和紙」



苦勞しながら大判の和紙をすく生徒

2022年11月下旬に青谷中2年生による「探究あおや」の学習が、スタートした。それぞれの学年によって探究テーマが違っており、2年生は「和紙」について学習した。

初めの授業では、和紙についてどのようなことをテーマに探究していくのかをグループごとに決定。11月25日に同町山根のあおや和紙工房で、実際に紙すき体験を行った。

和紙の材料になる木を切るころから始め、蒸したり皮をむいたりして最後に紙すきをした。「和紙ができるまでに、どのような作業をしているのか勉強になった。一から作業すると、とても疲れて大変さが分かった」という感想が多く聞かれた。

さらに12月9日には、あおや和紙工房の山崎博巳館長に学校に来ていただき、因州和紙についての話を聞いた。いつから作られ始めたのか、受け継がれていく理由などを話され、真剣に山崎館長の話を聞くように生徒の姿が見られた。

今年1月20日には、和紙保存会の4人の方に来ていただき、「青谷の和紙について学ぶ会」を開催した。自分たちで事前に調べていたが、話を聞くことで「気になっていたので、今まで和紙が受け継がれてきた理由が分かった」「和紙の歴史がそのまま途切れないように良さを伝えていきたい」との感想が聞かれた。これからは青谷の和紙について深く学んでいく。

(原田桃、大口真由、吉田剛琉、石田翔吾)

# 【探究あおや】学年ごとに地元リサーチ

## 3年生テーマ「海」



インストラクターにアドバイスを受け、波に乗る生徒たち

**あおやの海であおや! 地元でサーフィン体験**

青谷中3年生が2022年8月29、30日の2日間、「探究あおや」の一環としてサーフィン体験を行った。3年生の「探究あおや」のテーマは「海」。青谷の海を取り巻く歴史、文化を知り、

ふるさとを思う心を育み、自己の生き方を見つめることを目的としている。タブレット端末などのインターネットで知識として学ぶだけでなく、実際に山陰海岸ジオパーク

きょうこが青谷中の良きところ。1日目は「なかなか波に乗れずとも難しかった」と話していたが、2日目は、少し慣れて波にも乗り始め楽しく体験ができた。

「難しそうと思えることにも挑戦することの大切さを感じた。今後もしそいつに挑戦することに楽しんでチャレンジしていきたい」と話した。

サーフィン体験後にもジオパークについて探究し、文化祭では寸劇を入れるなど学んだことを楽しく分りやすく発表。「探究学習を通して、青谷には素晴らしい自然があることを改めて感じた。私たちがこれを守っていく必要がある」という声も聞かれた。

(足利彩花、大庭琉聖、富田優真、中林音色)

## ワクワクあおや

### 3年ぶり職場体験実施 仕事の面白さ学習



中郷地区公民館で公民館祭の準備をする生徒

青谷中の2年生27人が2022年10月4、5、6日の3日間、町内15の事業所の協力をいただいた職場体験「ワクワクあおや」を行った。青谷中では3年ぶりの実施となった。仕事をすることの大変さ、

忙しい、面白さをたくさん学ぶことができた。

青谷かみじち史跡公園準備室での体験内容は、遺物の洗浄(土器のかけらの土を落とす)▽微細遺物の抽出(土に粉れた細かい遺物を見つけて)

(小川拓真、内藤乃愛、中宇地希咲、宮川煌晴)

## 文化祭

### 感動を自分たちの声で 英語弁論、合唱や発表 モザイク画や動画も

青中文化祭が2022年10月29日、行われた。今年度のスローガンは「声瞬」92人の声で感動する瞬間を。午前の部は全校生徒で分担し、因州和紙で作成したモザイク壁面の披露から始まり、生徒会によるオープニング動画が流

さらに学年代表の日本語弁論、東部地区大会で優秀な成績を収めた英語暗唱・弁論、ふるさと青谷の学習「探究あおや」の発表、中国大会出場の大吹奏楽部の演奏と続いた。午前の最後には、縦割り合唱コンクールがあり、どの色団も練習の成果を発揮できていた。

午後からは、学年合唱コンクール、青谷町PR活動「みらあおプロジェクト」の報告があった。どの学年の合唱・発表にも成長が感じられた。

2年生の保護者は「わが子の頑張る姿を見られて感動した。来年度は3年生になるのでみんなを引っ張っている姿を期待したい」という感想を寄せた。

(亀倉春登、遠藤寧々、吉田想、加藤優衣、白岩朝也)



すばらしい合唱を披露した3年生

「声瞬」92人の声で感動する瞬間を。午前の部は全校生徒で分担し、因州和紙で作成したモザイク壁面の披露から始まり、生徒会によるオープニング動画が流

さらに学年代表の日本語弁論、東部地区大会で優秀な成績を収めた英語暗唱・弁論、ふるさと青谷の学習「探究あおや」の発表、中国大会出場の大吹奏楽部の演奏と続いた。午前の最後には、縦割り合唱コンクールがあり、どの色団も練習の成果を発揮できていた。

午後からは、学年合唱コンクール、青谷町PR活動「みらあおプロジェクト」の報告があった。どの学年の合唱・発表にも成長が感じられた。

2年生の保護者は「わが子の頑張る姿を見られて感動した。来年度は3年生になるのでみんなを引っ張っている姿を期待したい」という感想を寄せた。

(亀倉春登、遠藤寧々、吉田想、加藤優衣、白岩朝也)



オープニング動画が終わると拍手喝采が起きた

## 小中合同企画「みらあおプロジェクト活動」 街頭PRや文化祭動画作成

青谷中生徒会は、前期に「みらあおプロジェクト」などの活動を行った。「みらあおプロジェクト」とは、「未来の青谷創造プロジェクト」の略称で、ふるさと青谷町のためにできることを青谷小・中合同で取り組んでいる企画である。

2022年10月15日に生徒会執行部は、青谷町の魅力を伝えるPR活動を行った。場所はJR鳥取駅、道の駅(神話の里白うさぎ)、道の駅(西いなば気楽里)。当日のことを前期生徒会執行部のメンバーは「PRは緊張したが、意外と青谷の良さを知ってくれている人がたくさん



JR鳥取駅、道の駅白うさぎ道の駅気楽里でみらあおマップを配布

## 生徒会活動

驚いた」と語っていた。

後期生徒会活動は、10月29日に行われた文化祭などに力を注いだ。生徒会執行部は、全校生徒で作上げるモザイク壁面の最終調整や、生徒会による文化祭オープニング動画の制作などに取り組んだ。

特にオープニング動画は、選ばれた8人が休日返上で苦勞の末に作り上げた渾身の動画。文化祭当日に動画が再生されたときは大きな反響を呼び、大成功となった。

(西村春輝、房安亜祐美、長谷川実夢)

# 2年生が作った新聞です